

私なき献身 福祉県を築きあげた 三木行治

令和2年 2月6日(木)14:00~16:30(予定)

山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町)

講演内容



にこにこおじさん
桃太郎知事

黒住教名誉教主 黒住 宗晴

岡山県立記録資料館提供



医療福祉の人
三木行治

山陽新聞社監査役 阪本 文雄

入場無料

主催 ● 公益財団法人 山陽放送学術文化財団 共催 ● 岡山日蘭協会
後援 ● 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、香川県、香川県教育委員会、
(公財)岡山県郷土文化財団、山陽新聞社

信朝 寛氏 提供

岡山市畑鮎に生まれた三木行治(1903~1964)。若くして両親と死別、新聞配達をするなどして少年期を過ごした。岡山医科大学、九州帝国大学を卒業して厚生省に入り、公衆衛生局長などを歴任。1951(昭和26)年岡山県知事選挙に出馬して当選した。「産業と教育と衛生の岡山県」を掲げた三木は就任直後、5500人もの愛育委員を委嘱。高かった赤ちゃんの死亡率を低くする体制を整えた。そして「がん撲滅」に取り組んだほか、子どもや高齢者、社会的弱者の救済を進めるなど、医療と福祉を一体として行政を進めていく。また開眼運動を



マグサイサイ賞のメダルを披露
(岡山県庁、1964年)
(岡山県立記録資料館提供)

提唱してアイバンクを設立。献眼登録の第1号になり、三木の死後若い女性2人に三木の角膜が移植された。一方、産業面では倉敷市の水島にコンビナートを造成。大企業の誘致に積極的に取り組み、水島は「新産業都市の優等生」といわれた。

三木は1964(昭和39)年志半ばで急逝したが、その20日前東洋のノーベル賞といわれるラモン・マグサイサイ賞を受賞。この副賞を基に現在も記念事業が行われている。

シンポジウムでは三木の施策を民間から支え、また密着して取材を続けたゆかりのふたりを招き、一生独身で通し、365日24時間働き詰めだった三木の生涯とその思想を明らかにするほか、医師として、県知事としてどう生きたかを考えていく。



三木は献眼登録第1号
(岡山県立記録資料館提供)



開設直後の重症児施設「旭川児童院」
(1967年)
(福)旭川荘提供)

出演者プロフィール

黒住 宗晴 (くろずみ むねはる) 宗教法人 黒住教名誉教主

岡山市生まれ。京都大学哲学科を卒業後、黒住教青年連盟長に就任。中国・四国初となる重症心身障害児施設の建設運動に奔走。1967年、社会福祉法人旭川荘内に重症児施設「旭川児童院」が開設された。1973年第6代教主に就任。2017年9月黒住教名誉教主に就任した。現在も社会福祉法人旭川荘理事、社会福祉法人南野育成園後援会長などとして福祉施設の運営・支援を続けている。1967年に山陽新聞賞。2017年には三木記念賞を受賞した。著書に『太陽といのちの奇跡』『道ごころ』『心を語るー黒住教教主対談集』など。

阪本 文雄 (さかもと ふみお) 山陽新聞社 監査役

笠岡市生まれ。龍谷大学哲学科卒業後、山陽新聞社に入社。国際障害者年の1981年、障害者と健常者が共に助け合いながら暮らすノーマライゼーションの福祉先進国デンマークを取材。年間企画「あすの障害者福祉」として連載、大反響を呼んだ。同企画はその年の新聞協会賞を受賞した。また「医療最前線」「がん治療」、地域で暮らす障害者の教育や就労をテーマにした企画記事を数多く取材した。共著に『医療福祉の源流』『ノーマライゼーションへの道』『岡山福祉の群像』など、編纂人として『奥山典雄伝』『江草安彦伝』をまとめた。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。
この用紙のままFaxでお申し込みください。

fax 086-225-5046

<p>お名前 (企業名) _____</p> <p style="text-align: center;">〒</p> <p>ご住所 _____</p> <p>申込人数 _____ ※ 2名までとさせていただきます。</p> <p>ご連絡先 (電話など) _____</p>	<p>優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ e-mail : nichiran@rsk.co.jp ◆ ハガキ宛先 〒700-8580 RSK山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団 ◆ 申し込みは1枚(1回)につき2人迄となります。(複数応募不可) <p>希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。</p> <p>「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。</p> <p style="text-align: center; background-color: #e0e0e0; padding: 5px;">令和2年1月10日(金) 必着</p>
---	---

「慈愛と福祉の先駆者たち」シリーズは第8回で終了します。
新シリーズは「近代岡山の偉人伝 遺産に挑んだ人々」。岡山市北区天神町に令和2年夏に完成するRSKイノベティブ・メディアセンターを会場に令和2年8月にスタートします。
第1回は「明治の才覚たち」と題し、「日本初のテーマパークを天神町に開園した片山儀太郎と、国産初の自動車を作った山羽虎夫」を取りあげる予定です。
新シリーズにもご期待ください。



RSKイノベティブ・メディアセンター イメージ

第1回テーマ 「明治の才覚たち」 令和2年8月(予定) RSKイノベティブ・メディアセンター